

## 2025年度日韓学術文化交流事業訪韓団 実施要項

### 1. 事業趣旨

本事業は、日本の教員を韓国へ派遣し、韓国の教育機関視察（小学校・中学校・高等学校のうち2～3校を訪問予定）や関係者との教育関連の意見交換、韓国の伝統文化・社会に接する機会を通じて、今後の日韓間の相互理解と信頼関係増進の基盤強化に寄与することを目的として実施します。

また、本年は日韓両国の国交が正常化した1965年より60周年目の年となり、本事業は「日韓国交正常化60周年記念事業」の認定事業として実施いたします。

### 2. 実施体制

本事業は、公益財団法人日韓文化交流基金が大韓民国教育部所管の韓国国立国際教育院と共同で実施します。

### 3. 実施日程（6泊7日間）

事前説明会 兼 訪韓前日韓交流会	出発日（※）	帰国日	訪韓後日韓交流会
7月19日（土）	8月20日（水）	8月26日（火）	10月4日（土）

#### <事前説明会 兼 訪韓前日韓交流会> ※参加必須

内 容：趣旨及び日程等の説明、連絡事項伝達、訪日団参加教員との意見交換等

時 間：13：30～17：30（予定）

場 所：オンラインツール「Zoom」を使用

※出発日は羽田または成田空港内に集合し、訪韓予定です。

集合予定時間：正午頃（※韓国側事務局が航空便手配中につき、変動の可能性があります）

集合予定場所：羽田または成田空港内

#### <訪韓後日韓交流会> ※任意参加

内 容：趣旨等の説明、訪日団参加教員との意見交換等

時 間：午後の時間帯を予定

場 所：オンラインツール「Zoom」を使用

### 4. プログラム実施内容

韓国滞在中の日程編成及びそれに伴う手配等は、本事業の韓国側事務局である韓国教育部国立国際教育院が行います。

2024年度に実施された日韓学術文化交流事業訪韓団の日程や内容等は、当基金ウェ

ブサイトに紹介されています。ただし、日程内容は毎年異なります。

(参考) <https://www.jkcf.or.jp/news/2024/09/18/28481/>

ご参考までに、過去参加教員が作成したレポートを別紙4として添付します。

< 日程内容の例 (変更となる場合もあります) >

日 程 例	
1 日 目 (水)	正午頃集合 (予定)、連絡事項伝達等 集合場所: 羽田または成田空港内 (予定) < 利用空港 / 羽田—金浦または成田—仁川 (予定) >
2 日 目 (木)	視察、学校訪問、文化体験等
3 日 目 (金)	視察、学校訪問、文化体験等
4 日 目 (土)	視察、学校訪問、文化体験等
5 日 目 (日)	視察、学校訪問、文化体験等 ※地方移動の可能性あり
6 日 目 (月)	視察、学校訪問、文化体験等 ※地方移動の可能性あり
7 日 目 (火)	帰国 < 利用空港 / ソウルまたは釜山—日本各地便 (予定) > ※帰国便に関しては、参加者の居住地により、ソウル (金浦 / 仁川) または釜山 (金海) から就航便のある羽田または成田 / 関西 / 福岡 / 中部 / 新千歳空港に振り分け予定です。ただし、減便や予約状況等により、居住地最寄りの空港便が手配できない可能性もあります。予めご了承下さい。

## 5. 募集人数及び団構成

訪韓時に小学校・中学校・高校・特別支援学校に勤務している専任教員62名

第1団	34名	小学校または特別支援学校 (小学部) 教員
第2団	29名	中学校、高等学校、特別支援学校 (中等部または高等部) 教員 ※29名のうち1名は、2024年度に当基金が実施した高校生訪日事業の協力校から選出されます。
事務局	2名	当基金職員 (各団1名同行)
合計	65名	※団員代表として各団1名を選出します。団員代表には日程中、公式訪問先での代表挨拶等の役割を担っていただきます。 ※韓国滞在中は訪韓団一行の他に、韓国側事務局職員及び通訳者が同行します。

## 6. 対象となる方及びご留意いただきたい点

- (1) 団員は日本国籍あるいは日本の永住権を有する、訪韓時に40歳以下の方で、事前説明会及び訪韓日程7日間、全8日間の全日程に参加できる方を対象とします。  
※永住権を有する方は、応募時の書類に永住権を証明し得る公的証明書のコピーを添付してください。
- (2) 訪韓時に小学校・中学校・高校・特別支援学校に勤務している専任教員とします。
- (3) 留学、研修等による6か月以上の韓国での長期滞在経験のない方をご優先下さい。

- (4) 妊娠中の方、乗り物酔いの激しい方、食べ物に極端な好き嫌いのある方、その他既往症で参加に著しく支障をきたす憂慮のある方は、参加をご遠慮いただく場合がございます。また、持病・アレルギー等、健康状態に不安がある場合は事前に専門医等に相談し、適切なアドバイスを受けていただけますようお願いいたします（内容によっては韓国側関係機関との協議が必要となるため、参加可否につきましては別途相談させていただきます）。
- (5) 実施に際し、当基金の費用負担にて海外旅行保険に加入します（下記7参照）。補償内容についてご了解いただくために、後日同意書を提出していただきます。
- (6) 航空便確保の関係で、参加決定後、6月下旬を目途に旅券（パスポート）の写しをご提出いただきます。旅券取得や更新申請手続きは、速やかに対応いただけますようお願いいたします。（※韓国入国に際し、日本旅券は査証（ビザ／入国許可のようなもの）が免除されていますが、そのかわり旅券の有効期間が「原則として韓国入国時から3か月以上残っていること」が定められています。）
- (7) 参加決定後、SNS（LINE、Facebook、Kakao Talk等）に登録し、当基金や他の団員とのやりとり（グループ含む）が発生します。
- (8) 事業実施前、訪韓中、事業実施後に、当基金及び韓国側事務局が実施する定期的なアンケートにご回答いただきます。
- (9) 日本の教育事情等、日本の取り組みや魅力について、訪韓中やSNS（Instagram、Facebook等）を活用して積極的な情報発信や意見交換をお願いします。
- (10) 帰国後に所属学校または公共の場において報告会を実施したり、経験談や写真等を発表ないし掲示したりすること等によって、訪韓経験の共有や活用をお願いします。（例：授業、集会での報告発表、公開報告会等）
- (11) 帰国後は訪韓団アルムナイとしての活動や韓国との交流活動に積極的な参加をお願いします。

## 7. 経費負担

### ＜実施機関負担＞

※以下の経費は、当基金または韓国側事務局にて負担します。

- ・日韓往復航空運賃（空港諸税、燃油特別付加運賃、航空保険特別料金等を含む）
- ・韓国における滞在費（交通費、食費、宿泊費、視察に係る入場料等）
- ・以下の補償による海外旅行保険掛け金（詳細については後日配布する資料をご確認下さい。）

傷害死亡・後遺障害	3,000万円	傷害治療費用	1,000万円
疾病治療費用	1,000万円	救援者費用	300万円
賠償責任	5,000万円		

### ＜参加者負担＞

※以下の経費は、当基金及び韓国側事務局の経費負担対象外となります。

- ・自宅から指定集合場所（羽田または成田空港内）及び帰着空港から自宅までの交通費  
（※帰国時に、悪天候や自然災害等により予定空港に帰着できず、日本国内の別空港に振替となった際に発生し得る自宅までの交通費・宿泊費等も含む。なお、主催機関にお

いて、空港の振替事象発生に関する証明書等の発行は行うことができません。)

- ・出張手当に相当する経費
- ・旅券（パスポート）を新規取得または更新する際の経費
- ・公式日程中、訪問先へお礼として贈る記念品代（一人あたり1,000円程度）
- ・韓国滞在中にパスポートを紛失した際の臨時または再発行の手続きにかかる費用（写真代、申請費等）
- ・韓国滞在中の客室料・朝食代・税金・サービス料に含まれない費用（電話料金、クリーニング代等）
- ・韓国滞在中、個人的な事情により帰国便を変更する場合の変更手数料や新たに購入する場合の航空券代、韓国国内の帰国空港までの交通費、延泊宿泊代等
- ・韓国滞在中に感染症等を発症し、上記海外旅行保険の適用外と判断された場合や限度額を超えた場合の経費

#### 8. 依頼事項へのご回答について

韓国側事務局による航空便等の各種手配のため、以下のとおりご協力賜りますようお願い申し上げます。

- (1) 貴校からの団員派遣をご希望される場合は、6月11日（水）までに別紙「派遣候補適任者略歴」にご記入の上、電子書面にて当基金までお知らせください。
- (2) 団員決定後、必要事項の伝達や関係書類の送付等につきましては、当基金から直接団員にご連絡させていただきたく存じます。
- (3) 本事業を通じて、当基金が入手する個人情報の保護に関しては、別途定める方針に従って厳重に取り扱います。ただし、参加者の情報について、外務省、韓国側事務局及び関係機関と共有することが予定されています。予めご了承下さい。

<お問い合わせ先>

公益財団法人日韓文化交流基金

日韓学術文化交流事業訪韓団担当：山中、田島

〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町2-21-2 プライム水道橋ビル5階

Email: t-haken(a)jkcf.or.jp

※メール送信時には(a)を@に変えて入力してください。

(了)